

## ヴァイオリニストTAIRIKの戯言

〔第30回〕

## 弦が揺れると、僕は季節の風になる

+ 文 佐田大陸 Text by Tairik Sada +

ヴァイオリニストあるある  
本日はヴァイオリニストの特性や、ヴァイオリニストなら皆思っている（であろう）あるあるを個人的見解でお話ししたいと思います。

【その①】左顎下にアザがある  
ヴァイオリンを長い間続けていると、左顎下に黒ずんだアザができます。そしてヴァイオリニストにそのアザについて聞くと「これは、勲章だよ」と必ず言います。そして「練習しないとこのアザはすぐ消えるんだよ」とセツトで言ってくる可能性が高いです。

【その②】飛行機に乗る時にもう1席分のAB券が必要で、別途約1万円かかる  
国際線は大丈夫なはずですが、国内線でヴァイオリンを持ち込む時にはAB券が必要になります。

数年前までは大丈夫でしたが、規定サイズオーバーに指定されてNGになりました。当時は数多くのオーケストラのメンバーがJRしか使わない、と飛行機への不満をあらわにして話題になりました。  
ちなみに現在は、規定サイズ内でギリギリヴァイオリンと弓が入る（他は何も入らない）楽器ケースも売り出されています。

【その③】満員電車で舌打ちされる  
ヴァイオリンケースは一人一人分ほどではないですが、スペースをとります。

ピリピリした満員電車では、多めにスペースを取っていることに腹立たしく思った人に押されることがよくあります。そして舌打ちされることも。これにおいてはさらに大きい楽器を持っているチェリストが一番気の毒です。  
ちなみに自分を押されるより楽器ケースを押されるほうが腹が立ちます。

【その④】楽器弾いて！と言われたときのレパートリーが意外と少ない  
クラシックばかりやっていると（僕もそうでしたが）「何か弾いて」と言われたときに意外とみんなが知っているメジャーな曲をレパートリーとして持っていない自分がつきます。  
モンテイのチャルターシユ、タイスの瞑想曲、葉加瀬太郎さんの情熱大陸、エルガーの愛の挨拶を迷いなく弾いたらその罫にハマっている可能性が高いでしょう。その後、ジブリとディズニを弾いたらほぼ間違いありません。

【その⑤】「その楽器めっちゃ高いでしょ。家買える？」って聞かれる  
この際お答えしましょう「場所によっではいける。都内は無理」。

【その⑥】松ヤニを使い切った事が一度もない  
ヴァイオリンを鳴らす為に弓に塗るのが松ヤニです。皆丁寧に使っているはずなのに、落として割ったり、勝手に割れたり、どう頑張っても最後まで

使いきれない。

【その⑦】マイ楽器を持っている事をピアノストから羨ましがられる  
そして「逆に身一つで来て仕事して帰るその姿がカッコ良く羨ましい」「いや、ピアノストの楽譜の厚みを分かっている」までが一連のやり取りである。

それを踏まえた上でも身一つで舞台に出るピアノスト、落語家、漫才師に憧れを持ちます。

ということ、まだまだ沢山あるはありますので、またいずれ第2回も書きたいと思います！



## profile

2010年3月に桐朋学園大学音楽学部大学院を修了。  
2 ヴァイオリンとピアノのアンサンブル・ユニット「TSUKEMEN」のヴァイオリニストでリーダー。  
2010年キングレコードからメジャーデビュー。  
結成9年目にして450本以上の公演を海外や日本全国各地で開催、現在までにのべ35万人を動員している。